

1. 事業プロジェクト

(1) 都市デザイン連携プロジェクト

多くの都市で街路空間を車中心から“人中心”の空間へと再構築し、沿道と路上を一体的に使って人々が集い多様な活動を繰り広げられる場へとしていく「街路空間の再構築・利活用」により居心地が良く歩きたくなる街路づくり実現の取組みが進められている。UDCBK としても長期的な見通しを持って、南草津エリアの中心となる南草津駅周辺における、ウォーカブルなまちづくりの推進に向け、関係部署と連携しながら取組みを進める。

都市デザイン連携プロジェクトでは公共空間と民間施設との連携に着目し、「南草津駅周辺の公民連携空間の利用促進」と住民や駅を利用される皆さんが交流・滞在ができる空間としての公園に着目し、「南草津駅周辺の公園を中心としたまちづくり」をテーマとして事業展開を図る。

(2) 都市と交通プロジェクト

南草津駅周辺の交通対策として、令和2年度から令和3年度にかけ2回にわたる県・市の交通社会実験が行われ様々な課題や改善につながる糸口などが見えてきたところであり、草津市としても課題解決に向けた短期的な取組だけでなく、中長期的な視点に立った対策についても検討を進めているところです。

UDCBK として、10～20年後の「歩いて暮らせるウォーカブルなまち」南草津の実現に向け事業展開を図る。

(3) 大学生が住むまちプロジェクト

草津市は約7,000名以上の大学生が居住する都市でもあり、安全安心・快適な草津市のまちづくりにとって学生は重要な担い手でもある。オフキャンパスである地域で大学生が市民として生活し、大学生と地域の人びとが交流を通じてお互いに成長できるまちをつくることは地域の魅力を高めることに繋がる。立命館大学 BKC 地域連携課と連携を進め課題の共有をはかりつつ、BKC のフロントゾーンにおける地域連携の展開も含めて共同の取組みを追求する。

3つの事業プロジェクトを進めていくための主な取組として、都市デザイン構想事業（都市デザインマネジメントスクール・アーバンデザインセミナー）、社会実験準備事業等を実施する。その他にも産学公民が連携した事業も随時実施し事業プロジェクトを進めます。

2. 都市デザイン構想事業

(1) 都市デザインマネジメントスクール（産学公民連携の提案型スクール）

都市デザイン・まちづくりに関することをテーマに、ワークショップや社会実験を実施し、事業を効果的に進めるための専門家による講義等も加え、参加者による提案を市に対して行うことにより、施策への反映を目的に事業を実施する。

《令和5年度テーマ》

『10年後、20年後を見据えた南草津駅周辺における車から人中心の
利用したくなる居心地のよい都市デザイン・まちづくりを考える』

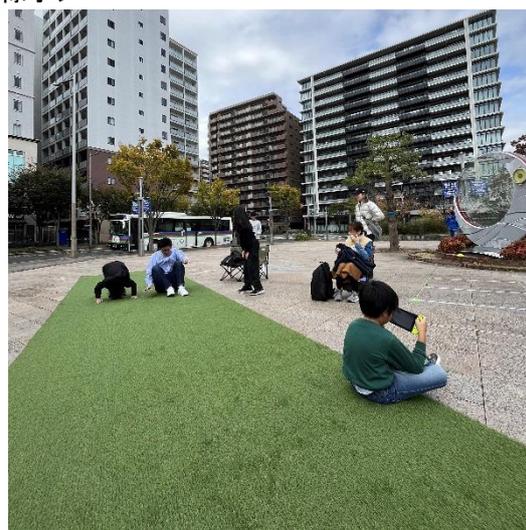
	開催日	内 容	参加者数
第1回	9/1 ワークショップ	『南草津駅前についてふりかえろう』 南草津駅前の課題や魅力について参加者で意見の共有を行いました。	44人 (FU 5人)
第2回	9/27 ワークショップ	『課題を解決し、新しい南草津駅を考えよう』 南草津駅前の課題の解決に向けて話し合い、構造的な解決のアプローチについて意見を出し合いました。	40人 (FU 5人)
第3回	10/31 ワークショップ	『計画図を元に社会実験について話し合おう！』 参加者からの意見をもとにとりまとめた図面を見ながら、居心地のよい空間利用に向けた社会実験の内容について検討・企画を行いました。	43人 (FU 2人)
第4回	11/12 社会実験	『社会実験の実施』 第3回のスクールで企画した社会実験の実施ととりまとめた図面の実際の大きさなどを体感してみました。	26人
第5回	12/19 ワークショップ	『まとめ』 これまでに実施したワークショップと社会実験をふまえた市への提案に向けた取りまとめを行います。	人

※開催日において参加できない方を対象に各回にフォローアップ（FU）を実施しました。

＜スクールの様子＞



《UDCBK でのワークショップの様子》



《南草津駅西口での社会実験の様子》

＜推進プロジェクト＞

(1) 都市デザイン連携プロジェクト、(2) 都市と交通プロジェクト

(2) アーバンデザインセミナー（年間4回）

広く市民がアーバンデザインを身近に感じることができるよう、テーマごとの相互学習の場と機会を提供する。

今年度は「先端技術を活かしたまちづくり」をテーマに、講演者から先端技術・先進的な研究の紹介とそれらを活かしたまちづくりについてご講演をいただき、その導入の可能性について参加者とともに考えるようなセミナーを開催する。

	開催日	内 容	参加者数
第1回	11/22	『超指向性音響×まちづくり』 講師：西浦 敬信 氏（立命館大学 情報理工学部）	10人
第2回	1/13	『地域福祉×まちづくり』 講師：永野 聡 氏（立命館大学 産業社会学部）	人
第3回	2/3	『脱炭素社会×まちづくり』 講師：依田 祐一 氏（立命館大学 経営学部）	人
第4回	3月	『食品ロス×まちづくり』 講師：天野 耕二 氏（立命館大学 食マネジメント学部）	人

<セミナーの様子>



<推進プロジェクト>

(1) 都市デザイン連携プロジェクト

3. 社会実験準備事業

草津市が包括協定を締結する7大学を対象にUDCBKの提示するテーマについて社会実験の提案を準備事業として委託する。

今年度は、都市計画部と調整した上で設定施策への反映を重視し、都市デザイン・まちづくりにおいて草津市において課題となっているものを関係部署と調整したうえでテーマに設定した。草津市のまちづくり、とりわけ南草津ビジョンの実現に資するような取組みを重視して募集し、審査の上、下記事業について採択した。

■募集テーマ

- 1 ウォーカブルな健幸都市づくり
- 2 民間活力を活用した公共空間のにぎわい創出
- 3 駅周辺の交通環境の改善に向けた、公共交通の利用促進や交通ネットワークの形成
- 4 歩行者や自転車も安心して利用できる環境づくり

現在、各事業責任者が事業を実施しており、11月末に中間報告書を提出いただいた。
2月頃に事業の成果報告会を開催する予定。

■採択事業

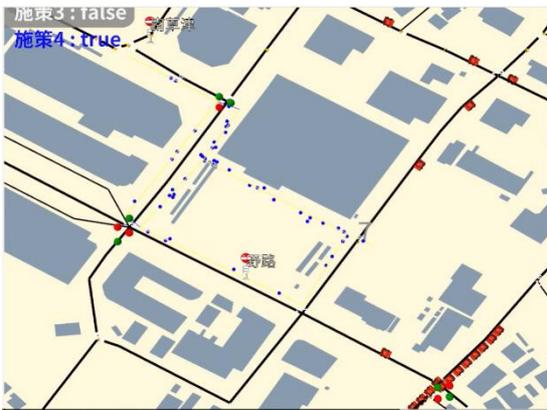
募集テーマ	応募事業名	応募大学	事業責任者名
1. ウォークアブルな健康都市づくり	南草津にふさわしいウォークアブルな街路空間と巡礼ルートの作成 〔3〕大学生が住むまちプロジェクト	立命館大学	理工学部 講師 木村 智
2. 民間活力を活用した公共空間のにぎわい創出	南草津駅西口におけるリサイクル資材を活用したファニチャー設置による滞留空間創出社会実験 〔1〕都市デザイン連携プロジェクト	滋賀県立大学	人間文化学部 講師 大江 由起
3. 駅周辺の交通環境の改善に向けた、公共交通の利用促進や交通ネットワークの形成	南草津駅周辺を対象としたマルチエージェントシミュレーションに基づく施策効果検証メディアの確立 〔2〕都市と交通プロジェクト	立命館大学	情報理工学部 教授 服部 宏充

※2、3の事業は南草津駅周辺における事業であることから都市デザインマネジメントスクールと連携しながら事業を進めている。

<社会実験準備事業の様子>



《南草津にふさわしいウォークアブルな街路空間と巡礼ルートの作成》



《南草津駅周辺を対象としたマルチエージェントシミュレーションに基づく施策効果検証メディアの確立》



《南草津駅西口におけるリサイクル資材を活用したファニチャー設置による滞留空間創出社会実験》

4. その他（産学公民連携による）

都市デザイン構想事業、社会実験準備事業の他に、地域や大学、産業界等と連携した事業を行い事業プロジェクトの推進を図る。

（1）MINAKUSAこだわりマルシェ（地域住民の活動団体との連携）

令和4年度に引き続き、南草津駅周辺における魅力ある滞留・交流空間の創出を目指し、南草津駅西口の東山道記念公園にて、公共空間である公園の利活用を図る。

当該マルシェは、『食』『緑』『教育』『文化』『環境』『健康』『交流』の7つのテーマを通して地域の良さを知り、地域の絆を育むことを目的に、草津市内の農家や地域のサークル等がブースを出店して、交流を深める場となっている。

【取組概要】

日 時：令和5年5月27日(土)

場 所：東山道記念公園

参加者：約400人

店舗数：16ブース

<イベントの様子>



推進プロジェクト：（1）都市デザイン連携プロジェクト

（2）みなくさまちライブラリー（地域住民の活動団体との連携）

本を通じて人が繋がり、交流が生まれることを目指し、UDCBKのオープンスペースの一角を利用し活動をしており、お気に入りの本を持ち寄り紹介する企画を実施した他、市内のイベントへ積極的に参加している。

【取組実績】

○オープンミーティング … 10月17日（火）18時～20時<参加者数：5人>
→みなくさまちライブラリーのメンバーや関心のある方も自由に参加できるミーティング。今後の運営やイベントの参加に向けての打合せ等を行う。

○ローカルダイアログ … 6月24日（土）10時～12時<参加者数：8人>
7月29日（土）10時～12時<参加者数：5人>
11月25日（土）10時～12時<参加者数：6人>

→本を通じたお話し会。参加者がおすすめの本の紹介を通して、自身の考え方や暮らし方について意見を交換する。

○OPEN DAY … 6月24日（土）10時～12時<参加者数：8人>

7月29日(土) 10時～12時<参加者数：5人>

→ローカルダイアログと併せて開催。特定のテーマについて意見を交わしたり、自由に本を読んだりと活動に興味がある方のエントリーイベントとして実施。

○イベント参加

5月27日(土) MINAKUSA こだわりマルシェ(東山道記念公園)

8月19日(土) 本とアイス(de 愛広場：草津川跡地公園)

<左：ローカルダイアログの様子/右：イベント参加の様子>



推進プロジェクト：(1) 都市デザイン連携プロジェクト

5. オープンスペース

(1) 「それ、UDCBK でやってみませんか？」

地域・学生と交流したい、まちづくりへ参画してみたい、社会課題の解決に取り組みたいといった地域と学生がともに活動する拠点としてUDCBKを活用いただけるよう働きかけを行う。

【取組予定】

1月20日 立命館大学の学生団体「potential」による家電の分解企画

- ・事業名 分解祭(ぶんかいまつり)
- ・目的 家電の分解を通して機械の仕組みを勉強するとともに、共同作業によって子ども同士の交流を深めることを目的とする。
- ・対象者 草津市内の小・中学生

<推進プロジェクト>

(3) 大学生が住むまちプロジェクト

(2) MINAKUSA BOARD

UDCBK や南草津エリアに対する意見を聴取するとともに、利用者との関係性を構築するための掲示板を設置している。

【取組概要】

2週間程度のスパンで、掲示板にてアンケートを継続的に実施する。

▶第1回

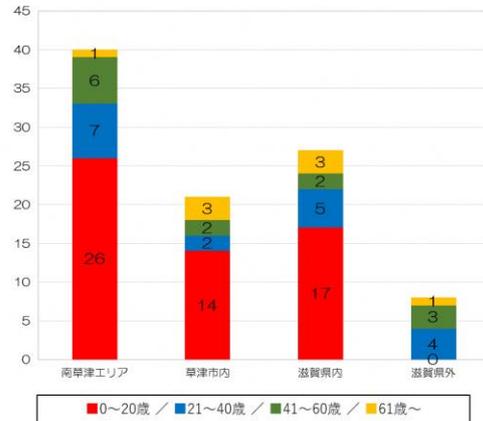
実施期間：11月9日(木)～24日(金) <回収数：延べ186人>

アンケートを通して、これまでオープンスペースの利用のみに留まっていた利用者がまちづくりについて意見を発信する機会を創出するとともに、集計結果についてはまちづくりや他の事業の参考とする。

<MINAKUSA BOARDの様子>



Q1：今日はどこからきましたか？



(3) UDCBK マッチングカード

UDCBK の南草津エリアにおける連携拠点としての機能を強化するとともに、人的な資源の可視化を図ることを目的に実施する。

【取組概要】

希望者のプロフィールカードを作成し、オープンスペースにて掲示を行う。オープンスペースの利用者は「活動に参加したい」「事業で連携をしたい」等、プロフィールカードから気になる人を選んでUDCBKに顔つなぎを依頼することができる。

この取り組みを通して、UDCBKの連携拠点としての機能を活性化するとともに、UDCBKの関係者を可視化することにより、エリアプラットフォームの構成の検討や関連事業において連携を行う際の参考として活用することができる。

なお、現段階は企画段階であり、申請の様式やマニュアル等が完成次第、導入を行う。

6. 情報発信

チラシやポスターなどの紙媒体やホームページ、Facebookに加えて令和4年1月からInstagramでの情報発信を行い、さまざまな方法を用いてUDCBKの活動を発信した。

■Instagramでの情報発信

情報発信：39回発信（令和5年4月～令和5年11月末）

いいね数：363人

フォロワー数：175人

■Facebookでの情報発信

情報発信：39回発信（令和5年4月～令和5年11月末）

いいね数：388人

フォロワー数：753人

7. 法人化検討

草津市はUDCBKを立ち上げ産学公民連携での都市デザイン・まちづくりを構想できる場を整備しているものの、発足時より市の事業のひとつという全国UDCの中でも珍しい運営形態をとっている。

全国UDC会議への参加などから、各地のUDCの状況や活動、あるいはオープンスペースのあり方などUDCBKの運営形態に関わる検討をさらに深める。

■全国UDC会議

日 時：令和5年11月25日（土） 13時30分～

場 所：長野県上田市 信州大学内 ※WEBでの参加

プログラム：

○UDC信州セッション … UDC信州の活動紹介

○UDCフラッシュトーク … 各地のUDCからの活動紹介・話題提供

→UDCM（松山）では、大学生の企画によるまちのにぎわいづくりイベントが開催されており、UDC2（柏）においても、若者を中心としたまちづくり実験が実施されていると情報共有があり、大学生や中高生がまちづくりに参加いただくためのアイデアとして参考にしていきたい。

○グループセッション … 現地参加者による参加型討議